

市民公開講座「ハッピー☆エンド」上映会 を開催します

主催	<p>安心できる地域ケアを考える会 (共催) 加古川市 (後援) 加古川市教育委員会・加古川市社会福祉協議会 加古川認知症の人と家族、サポーターの会 2市2町グループホーム協会・神戸新聞社</p>
日時	令和8年3月7日(土) 午後2時~3時30分
場所	SHOWA グループ市民会館(加古川市民会館) 小ホール
内容	<p>映画「ハッピー☆エンド」の上映会を開催します。</p> <p>【映画について】 オオタ ヴィン監督 最新作 在宅緩和ケアの専門医と、在宅で最期を迎えることを選んだ 家族に密着したドキュメンタリーです。在宅緩和ケアを通して、 歩くこと、笑うこと、生きることの喜び、家族の尊さが描かれ ています。(文部科学省選定映画)</p> <p>楽しい老い、穏やかな終末、地域医療の希望を通して「人生の 最期まで自分らしく輝いて生きる」ことを、一緒に考えてみませ んか。</p> <p>くわしい内容については、加古川市イベントページおよび別添 チラシをご覧ください。</p> <p>(恒例 前回(令和6年度)までは安心地域劇を開催)</p>
対象(参加者)	どなたでも
定員	—
参加費	無料
申込先・方法	不要

目的・背景 その他	<p>安心できる地域ケアを考える会は、医療・福祉専門職を中心に、 人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し て活動しています。</p>
--------------	--

市ホームページ	掲載済み・掲載予定・掲載しない
---------	-----------------

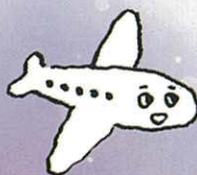
広報かこがわ	●月号に掲載・●月号に掲載予定・掲載しない
--------	-----------------------



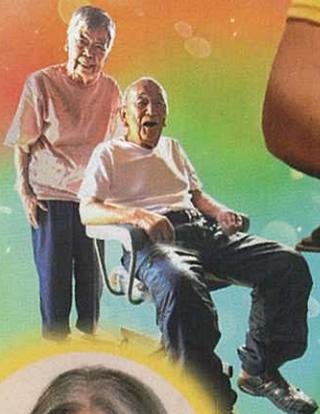
加古川市 高齢者支援課 健やか長寿係 (担当: 庄司・竹淵)
 ☎079-421-2044 (内線 2738)



笑おう！
生きよう！



患者ファースト・夢みるドクター 萬田 緑平



出演：樹木 希林



「自分らしく生きたい！」夢みるシリーズの到達点

在宅緩和ケアを通して、

歩くこと、笑うこと、生きることの喜び、家族の尊さを描く人生讃歌

〈文部科学省選定映画〉

ハッピー☆エンド



オオタ ヴィン監督「夢みる小学校」最新作

出演：萬田 緑平(在宅緩和ケア医) 樹木 希林

ナレーション：佐藤 浩市 室井 滋

エンディングテーマ：ウルフルズ「笑えればV」



市民公開講座

令和8年3月7日(土) 14時～

加古川市民会館

小ホール

参加費
無料

申し込み
不要

詳しくは裏面をご覧ください

「楽しい老い」とは？ 「穏やかな終末」とは？

「理想的な地域医療」を描いた、笑いと涙があふれる あったか〜い映画です！

群馬県の在宅医師・萬田緑平先生の診療所は、いつも笑い声が絶えません。

ジョークが好きな萬田先生の信条は、患者さん本人の気持ちを最優先する「患者ファースト」。

家族旅行を楽しんだり、愛するペットとともに暮らす。趣味のガーデニング、ゴルフ、お酒を満喫する。

本作で描かれるのは、最期まで自分らしく生きる、その輝き。前向きに歩きはじめる家族の姿です。

中学生、高校生など若い方にも、ぜひ観てほしい「生きる希望」を描いた文科省選定映画です。

がんを抱えながら亡くなった樹木希林さんの言葉が、明るく生き続ける極意を教えてください。

監督は、『夢みる小学校』のオオタヴィン。ナレーションは、佐藤浩市と室井滋。エンディングテーマはウルフルズの名曲です！

“希望あふれる地域医療”を描いたハートフル・ドキュメンタリー映画です♪



樹木 希林

「在宅緩和ケア」で、
自宅で自分らしい生活を送る
がん患者のみなさん



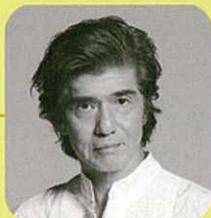
ゴルフやお酒も
OKです！



孫や子どもと
我が家で過ごしたい！



愛するペットと
一緒にいたい！



本作ナレーター
佐藤 浩市

緩和ケアを受けることで、がんの患者さんたちが
お酒を飲んだり、ゴルフをしながら自分の人生を満喫できる、
素晴らしいなと思いましたね。
がんで悩む現代人には勇気が出る映画です。

ハッピー☆エンドは、こんな映画です！



本作ナレーター
室井 滋

緩和ケアの実態、私もこの映画で初めて知りました。
がんになっても痛くないなんてすごいですよね。
患者さんたちの元気な笑顔にびっくりしました。
見ると不思議な希望が湧いてくる映画です。



本日も
愛車で
往診中

観客は大声で笑う、自分や自分の家族と重ねて笑う、うなずきながら泣く。
画面に映るのは私、私の夫、私の妻、私の子ども、私の孫たちなんだ。
緩和ケアは生きる人の生きるを支え抜くケアだと伝わる。
この映画を観た人は「しっかり生きよう」と元気になるのだ。

高口 光子 (理学療法士、介護福祉士)

予告編
ご覧ください



「人生の最期まで自分らしく輝いて生きる」ことを、一緒に考えてみませんか
「ハッピー☆エンド」上映会 3月7日(土) @加古川市民会館小ホール

主催者からのメッセージ

安心できる地域ケアを考える会は、医療・福祉専門職を中心に、人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して活動しています。

映画『ハッピー☆エンド』は、在宅緩和ケアの専門医と、在宅で最期を迎えることを選んだ家族に密着したドキュメンタリーです。楽しい老い、穏やかな終末、地域医療の希望を通して、人生の最期まで「自分らしく輝いて生きる」ことを市民の皆さまと共に考える機会になれば幸いです。

●上映会 3月7日(土)

●会場 加古川市民会館 小ホール

●開演 14:00~15:30 (90分)

●主催 安心できる地域ケアを考える会

●共催 加古川市

●後援 加古川市教育委員会・加古川市社会福祉協議会
加古川認知症の人と家族、サポーターの会
2市2町グループホーム協会・神戸新聞社

●問い合わせ 安心できる地域ケアを考える会事務局
☎ 079-421-7417

参加費
無料

申し込み
不要